

令和2年(2020年)11月15日

第151号

日歯連盟広報

● Pick Up!

第141回臨時評議員会

10月30日(金)に第141回臨時評議員会が開催され、次期参議院比例代表選挙における日歯連盟推薦候補者について山田宏氏を推薦候補者とする事を議案として上程。協議を経たのち賛成多数で可決された(2,3面に詳細を掲載)。

編集・発行人 西澤 均
年6回発行(奇数月の15日)
定価:1部105円・年間630円(税・送料共)
購読料は日歯連盟会費に含む

発行:日本歯科医師連盟 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20
TEL:03-3262-8644 FAX:03-3263-0345 E-mail:jdpf@jdpf.jp

日歯連盟ホームページ <https://www.jdpf.jp/>



日本歯科医師連盟 次期参院選 比例代表候補者

第141回臨時評議員会で推薦決定!!



山田 宏 (やまだひろし)

プロフィール (令和2年10月7日現在)

参議院議員 (自由民主党)

元防衛大臣政務官

自由民主党: 広報本部本部長代理/国防委員会会長代理

日本歯科医師連盟: 顧問、広報委員会論説委員

東京都歯科医師連盟: 顧問 岐阜県歯科医師連盟: 顧問

所属委員会: 予算委員会/外交防衛委員会/

沖縄及び北方領土に関する特別委員会

昭和33年1月8日 東京都生まれ (62歳)。

京都大学法学部卒業後、松下政経塾に第2期生として入塾。

東京都議会議員 (2期)

衆議院議員 (2期)

東京都杉並区長 (3期)

- ・杉並区の財政を再建し、レジ袋税や区独自の教師養成機関「杉並師範館」の設立、「減税自治体構想」など数々の独自の政策を推進した。
- ・「歯の健康が体全体の健康につながる」として、歯のクリーニング券を歯科健診に付け、受診率を当初の6%から15%まで上昇させ、また、区内の一部の小学校に歯磨き奨励用の洗面台を設置、地域の学校歯科医の皆さんと連携し、歯磨き励行を行い、インフルエンザの罹患率を大幅に減少させた。

参議院議員 (現在)

- ・平成28年に当選後は、政治家としての長年の経験を踏まえ、自民党若手

議員で構成される歯科口腔医療勉強会を立ち上げ、座長として総理に要望書を4年に渡り提出、2017年から4年、その要望に沿って、政府の骨太方針に歯科口腔医療の重要性が明記されている。また、2019年には「国民皆歯科健診を実現する勉強会」を古屋圭司衆議院議員を会長とし立ち上げ、事務局長を務めている。

キャッチフレーズである「道を拓く男。山田宏」をそのまま地でいく政治家。

《主な著書》

『日本よい国構想』(平成21年 神楽サロン出版)

『第3の道』(平成22年 マガジンハウス)

『世界の「楽市・日本」をつくろう～「日本よい国構想」Part2～』

(平成24年)

『政治こそ経営だ』(平成28年 日経BP社)

『慰安婦問題はこうして動いた』(平成28年 産経出版社)

『道を拓く男。山田宏』(平成28年 光明思想社)

山田 宏 公式HP <http://www.yamadahiroshi.com/>

山田 宏 Twitter @yamazogaikuzo

山田 宏 公式Facebookファンページ

<http://www.facebook.com/yamadahiroshi.page>

第141回臨時評議員会

10/30

令和2年10月30日(金)午後2時より、歯科医師会館において第141回臨時評議員会が開催された。コロナ禍ではあるが法人ではない日本歯科医師連盟としては実開催という形をとらざるを得ず、各評議員への安全を第一義に十分配慮のもと行われた。議案は「次期参議院比例代表選挙における日歯連盟推薦候補者の決定について」一案のみで、様々な質疑・答弁が交わされた後、議長団の判断から投票により表決を採ることが決まり、評議員による投票が行われた。

開会にあたり藤田議長、大山副議長より、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、今回の臨時評議員会は各評議員の安全を第一義とし、長時間の時間を短縮するため会議の時間を短縮する。これに伴い来賓の挨拶及び協議の時間は設けていないとの説明があった。

また評議員総数73名中、出席評議員72名、欠席評議員1名である旨の報告を受け、藤田議長は規約に基づき本臨時評議員会は成立すると宣し評議員会が開会された。

開会の辞は村岡副議長が述べ、続いて浦田理事長より配布資料の説明があった。

【議事録署名人名指名】
議事運営規則により議長から前田和賢評議員、大西和久評議員が議事録署名人として指名された。続いて高橋会長が以下のよう



高橋会長

とともに、できるだけ危険がないように会議進行に努めてまいりますので宜しくお願いいたします。またご多用のところ、公益社団法人日本歯科医師会堀会長、国会開催中にもかかわらず山田宏参議院議員のご臨席を賜りましてありがとうございます。いま我々はコロナ禍のなかで苦しんでいる

会員を支援するために、国の様々な施策に沿って、国家予算の予備費から慰労金という形で、コロナに立ち向かいながら仕事をしている会員・多くのスタッフに届けることができました。およそ180億円の金額。その他感染予防対策として6万9千件の歯科医療機関に対し上限を100万円とした感染対策費を確保することができた。これら第一、第二の矢として助成を受けることができたが、一方で持続化給付金等は、5割

りません。しかしながら、最も重要な社会インフラである医療機関が、感染リスク等の過酷な環境から地域医療現場崩壊を招きかねない状況にあり、これを防ぐための対策は喫緊の課題であります。しかし、現状ではその対策の必要性は理解し

以上収入が落ちていなければ助成されないため、この制度を利用できる医療機関はほとんどない状況だ。そこを助成するため第三の矢として、国予算予備費10兆円のうちの2兆円は医療関係に回していただける予定と聞いているので、我々執行部は第3次補正に向けてこの部分を支援していきたい。二階幹事長、下村政調会長、麻生大臣には『新型コロナウイルス感染症に対する要望』という要望書を提出した。内容は次の通りだ。

「新型コロナウイルス感染症対策として打ち出された第2次補正予算は、最善の感染予防対策を構築し、感染拡大を防ぎつつ国民の必要とする歯科医療を守るために必死で努力を重ねている歯科医療機関にとって一息をつく施策が含まれ感謝するところであり、現在、東京及び近郊において再び感染拡大が起きており、さらなる危機が始まっている。国民の健康を守るためには、国民皆保険制度の堅持充実が基本とな

ります。しかしながら、最も重要な社会インフラである医療機関が、感染リスク等の過酷な環境から地域医療現場崩壊を招きかねない状況にあり、これを防ぐための対策は喫緊の課題であります。しかし、現状ではその対策の必要性は理解しづらい。医療機関は資金的困難さから十分な対応ができない状況であります。この状況は永続的に国民の医療を守り、健康維持・感染者の重症化予防に重大な危機となります。また、これまでの持続化給付金、雇用調整給付金等は対象が5割を超えているという条件のため、多くの医療機関が5割の減収であることから、この制度を利用できず、救済を受けられない状況にあります。言い換えれば、5割に近い大きな減収を抱えながら公的支援を受けられない状況です。これを踏まえ、改めて次の通り要望します。(記)一、国民の健康維持、感染症重症化予防のため、ウイルスの強毒化も予測される第2波・第3波に備え、歯科医療機関に対し、感染症対策の充実、医療スタッフへの十分な待遇改善、さらに経営難から医療機関倒産・社会インフラである医療機関の消滅による地域医療崩壊から国民を守るため、医療機関存続のための支援を要望いたします。」

この要望書を提出し第三の矢として、できれば持続化給付金に相当する額を支給していただけるように頑張っている。

さて今日の議事はひとつ。我々は諸事情により、前2回の参議院選挙において組織代表を立てることができなかったが、今回は我々が一丸となって我々の組織の力を結集して選挙に臨みたい。国や政府に歯科界の得票の多さでその存在感をしっかりと示す大きな機会だと認識している。

先生方にはぜひ慎重審議の上にご判断をいただき、歯科界のため、会員を守るため、ひいては日本の医療を守るためにお力添えをいただきたい。

堀口会長挨拶(要旨)
続いて堀憲郎日歯会長から挨拶をいただいた。



堀口会長

この度日本歯科医師会は約15年にわたって議論してきた課題を抽出して、その取り組みも含めて記載した「2040年を見据えた歯科ビジョン」を刊行し連盟の先生方へもこの20年後に向けてのビジョンの達成そして歯科界の反転攻勢に向けての理解を求めた。



山田参議院議員

保健課の関係予算要求は13億。私を応援して送っていただいた2016年の参院選から4年が経過しました。そして、2017年に初めて骨太の方針に歯科の内容が記載されて以降毎年歯科の内容は記載され、この骨太の方針に依拠して予算額も増えてまいりました。2018年までは4億2千万位の横ばいでしたが、2019年には7億8千万円になり、2020年には11億8千万円、そこに4.7億円が加わり今年度の総額は16億5千万円となりました。今要求している来年度予算はこの11億8千万円をベースに要求額13億円になるといことですので、これは先生方のご努力も含めて歯科というものが注目をされていると考えています。またこの4年間、皆さんもお世話になり、長い間の歯科界の課題であった40ルールの見直しもあり、歯科医療費は3兆円を超え、本当にこれからの大切な時代を迎えてまいります。是非、私も一生懸命に歯科界のために働いてまいりたい」と述べた。

次に本日出席予定の島村大参議院議員は厚労委員会への出席により急遽欠席となったため、島村議員より届いたメッセージを大山副議長から披露された。

【会務報告】



浦田理事長

浦田理事長より一般会務報告並びに会員数報告が、富山副理事長より会計現況報告が行われた。

◆会長挨拶から各会務報告までに対する質疑として



重城評議員

重城正敏評議員(宮崎県) 会長挨拶の中で議題についてご協力をいただきたいということに触れているが、議題を上げること自体が問題ではないか。今までの方針と180度変わった内容になっており、会員に対しての説明不足なのではないか。コロナ禍とはいえ、いきなり答申を受けていきなり議題に上げるといのは会長の指導力を問いたい。

会長挨拶の中で議題についてご協力をいただきたいということに触れているが、議題を上げること自体が問題ではないか。今までの方針と180度変わった内容になっており、会員に対しての説明不足なのではないか。コロナ禍とはいえ、いきなり答申を受けていきなり議題に上げるといのは会長の指導力を問いたい。

池山正仁評議員(愛知県) はないと考えている。



池山評議員

1点目は、8月21日付けの3名の候補者の立候補の届け出について、会員の場合は所属都道府県歯連盟から一つの県のみで、非会員の場合はその限りではなく8県から出ている。これは会員である候補者にハンディキャップが生じているような方法と考えている。執行部は会員と非会員を同等に扱うかということを検討されたのかを伺いたい。

2点目は、選考委員会の面談における共通質問で、過去には当選後、党議拘束に反しても日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の方針に従うことができるかという質問があったが今回はこの質問がなかった。今までの組織代表の先生方と同じように、歯科に専念していただけたかを委員長に尋ねたところ、それは執行部に譲るとのことだったので今回当選後の誓約的なども、政策協定を執行部に求めたい。



常任理事 均 西澤

第141回臨時評議員会において次期参議院選挙の組織代表候補者が、現日歯連盟顧問で参議院議員の山田宏氏に決定された。今後は、我々の代表者として歯科界一丸となって応援していきたい。そのためには一人でも多くの会員に山田宏氏を周知してもらうため、広報活動の更なる充実を図りたい。新型コロナウイルス感染症の影響で、歯科診療は感染リスクが高いという過度ともいえる報道のため、患者の受診抑制がおこり、今まで維持してきた患者の健康が崩れる場面が少なからず見受けられた。その後このような現象もメディアで取り上げられるようになり、さらに最近になって認知症と歯周病との関連性の新発見も大きく取り上げられている。コロナ禍で、歯科は悪い意味で注目されたが、そのことで、放置すると健康を損ない、延びては全身の健康に大いに関連することが逆に周知され、皮肉だが歯科の重要性が再認識されるきっかけになったのではないだろうか。今後は、国民の健康のため、我々が日々の診療において、いかに感染予防に注力して集団感染を防いでいるかを更に大きく取り上げてもらいたい。



第141回臨時評議員会 (10/30)

投票による表決が望ましいという判断に至ったものである旨の説明があった。浦田理事長より次の通り提案理由の説明があった。

議長から投票で表決を採るとのことだが、無記名投票で行って欲しい。



川端評議員

川端貴美子評議員(福岡県)は、10月22日開催の第20回理事会において慎重審議を行った結果、山田宏氏を令和4年7月に実施が予定される第26回参議院議員通常選挙(比例代表)における本連盟推薦候補者とするに決定いたしましたので、この件について第141回臨時評議員会に議案として上程することになりました。

【議事】 第一号議案・次期参議院比例代表選挙における日歯連盟推薦候補者の決定について

はじめに藤田議長より発言があり、日本歯科医師連盟評議員会議事運営規則第25条、「議長が必要と認めるとき、投票で表決を採る」に基づき投票とする。これは今後参議院比例代表選挙に向けて歯科界が一致団結するため、正副議長で協議

【質問】 重城評議員(宮崎県) この議案について反対。今までの方針と180度変わっている。幾ら規則といっても、今までもずっと歯科医師を送ってきたなか、今回歯科医師がいなければ別だが、歯科医師が出ていたのになぜまた執行部がそれを変え、そのままのみにして議題に上げてきたのか。これを会員が理解できるか。

浦田理事長 歯科医師連盟として、歯科界としっかり連携できる候補者を選ぶということが理想だと考えている。もちろん歯科医師であることが望ましいと誰もが思う。その中でも今までの活動実績から山田先生が良いという方が選考委員会でも3分の2以上となり、候補者としての推薦に賛同し答申として出てきた。我々はそれを重く受けとめ理事会で審議をし、全会一致で議案として上程したことをご理解いただきたい。

藤田議長 先ほど議長団からお伝えした通りその予定で行う。有吉孝評議員(東京都) ◆第一号議案についての質疑として



徳永評議員

選考規約に関する問題は今後検討するべきだが、執行部の対応に関しては規約通りの進行で間違いはないと考える。藤田議長 答弁は不要とします。徳永寛司評議員(神奈川県)

職域代表、全国比例は歯科医師であり、自分達の仲間が出て、歯科のことに特化したことをやっていただければ、それは実力がなくて、とにかく我々が育てる。連盟の会費を使って自分達の代表を出すという気持ちで選挙戦において多くの票を出す。これが我々都道府県においても歯科医師連盟が力を持っていると国会議員へ大きな圧力になる。愛知県では今回の山田先生が代表になってきたことで連盟の会員から日歯連盟の退会を申し出るという方も出ると思う。こういう状況で今後全国がしっかりと一致団結して参議院選挙に臨む



有吉評議員

し、やっていただくとこの意味で発言したことをご理解いただきたい。内堀保評議員(愛知県)

場合に、高橋会長の強いリーダーシップの下に、この選挙を戦えるだけの理論武装と、退会者が出ないような施策を行わないと日歯連盟自体が崩壊していくように思う。そこに対するご見解を伺いたい。浦田理事長 歯科医師であるべきだというご意見は重々承知しているが、「これから育てる」ということについては、会員の浄財である会費を使って選挙をする以上、きちんと実績を残して、何か歯科界のために動いていただけないかといういけないのではないかと考えている。だからこゝで歯科界の代表としてしっかりと働ける方をこの評議員会で決定していただきたい。

◆日歯連盟ホームページ「会員専用ページ」のパスワードが変わります! ※詳細は次号以降



投票を見守る藤田議長(中)と大山副議長(右)

これにより、第一号議案、次期参議院比例代表選挙における日歯連盟推薦候補者の決定については、原案通り可決決定され議事は終了し、藤井副会長から閉会の辞が述べられ、第141回臨時評議員会は閉会となった。

投票総数72票、有効投票数72票、無効投票数0票、賛成票数52票、反対票数20票。以上で質疑が終わり、表決へと進み、投票が行われた。議長より開票結果が以下の通り発表された。

【審議(投票)】 投票総数72票、有効投票数72票、無効投票数0票、賛成票数52票、反対票数20票。

【候補者の面接について】 3名の候補者の面接は以下に記載する要領で行われ、慎重な質疑が行われた。候補者の面接の実施方法は、第2回選考委員会において決定したとおりに行うこととした。

【面接に当たり候補者が資料を持参した場合には配布を許可する。】

【本委員会での審議取り決めた事柄】

【次回委員会の開催について】

【10月16日(金)】午後2時より、Web併用をしない実開催で行う。

【候補者推薦の選定について】

【本委員会決定した事柄】

【その他】

【第4回】

【第3回】

【第2回】

【第1回】

【第0回】

【第-1回】

【第-2回】

4回の選考委員会の決定事項及び速記録は日歯連盟ホームページに掲載されています。どうぞご確認ください。

通知については、推薦母体である各都府県歯連盟に結果報告し、同連盟代表者より候補者本人に伝えていただくこととする。

【その他】

【第4回】

【第3回】

【第2回】

【第1回】

【第0回】

【第-1回】

【第-2回】

参議院比例代表選挙候補者選考委員会(報告)

都道府県から 歯科医療を語る



第6回

伊藤 明彦

熊本県歯科医師連盟会長

木原 稔

衆議院議員(熊本県第1選挙区)

(聞き手: 中村 文昭 日本歯科医師連盟広報委員長)

日歯連盟広報連載記事「都道府県から歯科医療を語る」の今回は、熊本県歯科医師連盟の伊藤明彦会長と熊本県選出で内閣総理大臣補佐官の木原稔衆議院議員に話を伺った。なお本対談は9月30日に行われました。

熊本県歯科医師連盟の主な地域での活動内容(地域の特性等)

伊藤明彦会長(以下、伊藤)

熊本県は、人口約175万人、面積7,409平方km、世界有数のカルデラを誇る阿蘇があることから「火の国」と呼ばれています。その活火山から形成された美しい山々や草原など雄大な自然や景観は、見るものを圧倒します。また、日本三名城に数えられる熊本城は、1607年に加藤清正公が築いた名城です。平成28年の熊本地震では、天守閣や石垣、重要文化財建造物など多くの被害を受けましたが、およそ20年をかけて城全体の再建が進められています。

さて、熊本県歯科医師連盟は、連盟会員数約760名、熊本市中心部に事務所を構えて活動しています。政権与党である自由民主党熊本県支部連合会や関係各所・団体と連携を密に図っており、毎年、自民党県連に対して歯科関係制度や予算に関する陳情を行っております。

中村文昭広報委員長(以下、中村) 本日は大変お忙しいところ、お話を伺いする機会をいただき誠にありがとうございます。まず、伊藤会長に熊本県歯科医師連盟の活動につきまして伺いたいと思います。



本県歯科保健医療計画が策定されました。現在では第4次計画(平成30年度〜令和5年度)が策定され、①各ライフステージの一次予防に重点を置いた歯科疾患の予防、②障がい児(者)、要介護者等に対する歯科保健医療体制の充実、③在宅歯科連携体制の整備、④災害時における歯科保健医療体制の整備、⑤医科歯科連携の推進、を重点目標に掲げて実施されています。



また、平成28年には、熊本地震において甚大な被害を受けた医療機関への早期再建に対する財政支援として、日歯・日歯連盟・県歯連盟・日医・日医連盟・熊医・熊本県が連携し、要望を地元国会議員、厚生労働省に対して提出しました。その結果、補助事業(中小企業等グループ補助金)の要件等が緩和され、対象者が歯科医療関係だけでなくグループを構成し申請することが可能となり、申請書類も簡略化されました。

それから毎年、県議会議員・県関係各課との懇談会を開催し、歯科医療や委託・補助事業、学校歯科保健に関する意見交換を行っています。各郡市支部においても同様に地元議員との懇談を通じて親睦を深めるとともに歯科界における現状や問題点を報告させていただいています。

中村 次に木原先生にお伺いいたします。安倍前総理大臣に引き続き、菅総理大臣でも内閣総理大臣補佐官に就任されました。その職責をご教示ください。
木原 衆議院議員(以下、木原) これは英語名で、Special adviser to the Prime Ministers、つまり「た方が分かりやすいかも」かもしれませんが、その名の通り、総理直轄のアドバイザー、助言役であると言えます。通常、総理は官僚たちを通じて様々な情報・意見を聞くわけですが、それが必ずしも正確で充分であるとは限らないわけです。ですから補佐官が独自のルートを通して得た情報を元に助言すること、総理が複眼的に、より広い視野での判断するための助けとなります。補佐官は担当ごとに5名まで指名出来るのですが、現在4名指名されて

います。私は「国家安全保障に関する重要政策担当」ということで、日本の安全保障全般について常に目を光らせ、多方面から情報を得ています。

その「国家安全」において、このところはやはり新型コロナウイルスへの対応が大きな課題でした。身近なことから言うと、一時期マスクが買えなくなりましたよね。あれは中国を中心とした海外での製造がほとんどで、国内の製造拠点が少なかつたことの結果と言えます。海外での依存度が高いと平時は良くても、何か危機が起きた時に国家の安全が脅かされてしまいます。コロナを通して今回、そうしたことが浮き彫りになったと思います。

ですからマスクなどの医療物資、および食糧など「国民の命・安全に関わるもの」に関しては、現在国内での生産を促進しているところがあります。企業への財政支援に加え、ちょうど法整備をしたばかりですが、外国人が日本で働きやすくなるようにしたりして、少子化の進む国内でも一定の労働力を確保し「国内回帰」を促す。国家の安全という「自衛隊」「海上保安庁」などがイメージされがちですが、そうした「国防」はもちろん「医療」「経済」など様々な分野で総理の目となり知恵となり、日本の安全保障に貢献する。そうした活動に取り組んでいます。

木原衆議院議員とのかかわりについて
中村 熊本県歯科医師連盟と木原先生のかかわりにつきまして伺いさせてください。
伊藤 木原議員と私は、同じ熊本県立済々黌高等学校の出身で、木原議員が昭和63年卒、私が昭和52年卒、先輩後輩の親しい間柄でもあります。当校は、今年で創立138年目を迎えました。徳育・体育・知育の三育併進、文武両道の気風を尊重する校風で、これまでに多くの著名人を輩出しています。

また、熊本地震におきましては、自らの被災者としての経験を活かし、財務副大臣として安倍政権の「できることは全てやる」との方針のもと、地震対策の迅速な予算編成に携われ、復旧・復興にご尽力されましたことにより、多くの県歯会員が救済されました。さらに、新型コロナウイルス感染症においては県内の感

染症に対応する歯科医療体制の確保、令和2年7月豪雨(九州南部豪雨)においては「なりの再建支援補助金」をはじめとする被災した歯科診療所・設備の復旧・整備など、関係機関との緊密な連携のもと、県民への安心・安全な歯科医療の提供体制を守るため全力を尽くしていただきました。

木原議員には、日頃より歯科界の発展のためにお力添えいただき、感謝申し上げます。今後も、ご自身の「世界に誇れる国」を実現するようゆるぎない信念のもと、政界の中心でご活躍されますことを期待しております。

木原 熊本県歯科医師連盟さんと自民党は元々良好な関係ですが、第24回参議院選挙で山田宏先生を応援したことが大きな転機となりました。日歯連盟さんは組織内候補を出さないと決定されていましたが、当時の浦田熊本県歯連盟会長に山田宏候補者の支援をお願いし、選挙協力していただき、山田宏先生が当選することが出来ました。この時からより親密にお付き合いをさせていただいております。

山田宏参議院議員の尽力もあり、骨太の方針に4年連続歯科の項目が掲載されました。私はお口の健康と全身の疾患は密接に関係しており、国民の健康のため歯科界が目指している国民

の確保、令和2年7月豪雨(九州南部豪雨)においては「なりの再建支援補助金」をはじめとする被災した歯科診療所・設備の復旧・整備など、関係機関との緊密な連携のもと、県民への安心・安全な歯科医療の提供体制を守るため全力を尽くしていただきました。

〈5面に続く〉

都道府県歯科医師連盟会長会議

10/9

令和2年10月9日(金)午後2時より日本歯科医師会館において都道府県歯科医師連盟会長会議が開催された。(Web参加33県)

村上副会長の開会の挨拶に続き、座長には藤井副会長が選出された。



高橋会長



都道府県歯科医師連盟会長会議 (10/9)

た事、現在進行形でやっていると、そして近未来的に実現しなければならぬ事に分けて現在までとめている

とことである。新型コロナに対する取り組みでは、患者さんが激減し、先生方が疲弊していることへのサポートとして、数々の支援対策を国に要望してきたが、今後も行っていかねければならないと思っている。また金パラの問題、地域医療介護総合確保基金の問題、診療手控えに対する対応等、そして、次期参議院選挙にむけて会員の為に働いていただける候補者を選考委員会で選考していただき評議員会でご決定いただき、という手順で進んでいくところである。これから我々執行部は頑張っていく所存なので、お力添えをさせていただき、叱咤激励をお願いしたい」と発言した。

国会報告では、山田宏参議院議員より、概算要求に関する説明、歯科大学のOSCEの見直し、歯科衛生士の人材バンク等の問題を解決していきたい、と述べた。

(1) 一般会務報告
浦田理事長より一般会務報告が行われ、山下副理事長より会員数報告が行われた。

(2) 会計現況報告
富山副理事長より会計現況報告が行われた。

(3) その他
浦田理事長より第141回臨時評議員会についての説明があった。

報告



島村参議院議員

続いて、島村大参議院議員より、歯科口腔保健省令室の説明、オンライン診療についての話等があった。



山田参議院議員



宮崎県・重城会長 (web画面より)

城会長より、第141回臨時評議員会の実開催と政治セミナーの開催についての質問があった。浦田理事長は、評議員会に関しては、次回は非常に重要な案件でWebでの投票というの難しいので実開催とさせていただきます。

また、政治セミナー開催については、非常に広い会場が確保でき、学校形式で開くという事で進めている、と回答があった。

更に重城会長よりコロナ状況は各県で違うこと、遠方から出向する事を考えると、Webでも決議は可能と考えるので、その点を執行部は考慮していただきたい、と述べた。

宮崎県の重城会長より、九州地区五県からの意見書・神奈川県からの意見書が出されたが、やはり職域代表候補者は歯科医師であるべき、との意見が出された。



大分県・長尾会長

大分県の長尾会長より、選考委員会での候補者の決定について規程により上位2名を答申できるとなっているのに1名に絞るといのはいかなものか、また候補者の趣意書が開示をされなかったが、会員に広く知らしめるべき、第4回目の委員会が第3回目の委員会の8日後の開催となっているが、開催までの期間が短すぎるのではないかと、この意見が出された。



愛知県・内堀会長 (web画面より)

神奈川県の鶴岡会長より、関東地区4名の選考委員が選出されているが神奈川の意見が出された。

川県の選考委員から外されており、選考委員会に対して発言する機会がないので10月1日付で意見書を提出したが、組織代表は歯科医師の専門職であるべき、との意見が出された。

静岡県の柳川会長より、選考委員会は透明性をもつたいとの説明があった。

宮崎県の重城会長より、メールマガジンの対象は会員向けなのか、関係機関にも向けたものなのか、内容は非常に良いが学術関係の記事は連盟が行うことは越権行為となるので、日歯に

録が間に合ってから選考委員会を開いても良いのでは、執行部として情報開示が出来るように働きかけてほしい、と説明された部分を繰り返し発言された。

愛知県の内堀会長より、職域代表というのは連盟会

NEO Zalocain Paste advertisement including product image, ingredients, and usage instructions.



Web参加の様子

（6面からの続き）
任せて連携を取っていった方が良いのではないかと、その意見が出された。

それに対して浦田理事長より、これはあくまでも会員向けとして考えており、会員の先生方に我々の活動や情報だけでなく、広く関連情報を添えることで多くの会員に興味を持って見ていただきたいと言ふ事で、新たにホームページ委員会を立ち上げ、広報委員会も人員を強化し、日歯との連携も踏まえて対応していきたい、との回答があった。

重城会長より、過去の不祥事を払拭し、各県の事情を把握し各県に任せていただけたところは任せていただきたいとの意見を述べられた。

浦田理事長より、会長会議は現在年2回で行っているが、来年度から4回に増やしたいと考えているが、会長先生方のご意見をいただき、ご理解をいただければ、4回開催で予算組みをし事業計画を考えたいのご意見を伺いたい、との説明があった。

それに対し福岡県の大山会長より、具体的に4回このお考えの根拠をお示しいただきたい、との質問があった。浦田理事長より、3ヶ月に1回ご意見を伺い、年間4回というイメージを持っているとの回答があった。

大山会長よりさらに選挙対策の為に年4回にするのか、と言う質問があり、浦田理事長より、選挙対策に特化したものではなく、会長先生方と意思疎通を深めていくという理由で回数を増やしたい、との回答があった。



福岡県・大山会長 (web画面より)

最後に、村岡副会長による閉会の挨拶で会議は終了した。

以上により、議事は終了した。

令和2年度中国・四国地区歯科医師会連合会の役員連絡協議会が本年10月3日(土)午後2時30分から岡山市内のホテルグランヴィア岡山で岡山県歯科医師会を当番県に開催された。



中国・四国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会 (10/3)

中国・四国地区 歯科医師会連合会 役員連絡協議会

(10 / 3)



議長・副議長と歯科医師会、歯科医師連盟役員の先生方

この後、来賓及び出席者の紹介、正副議長の選出が行われた。続いて日本歯科医師会の会務報告が瀬古口精良専務理事から、日本歯科医師連盟の活動報告を浦田健二理事長から時局問題を中心に報告が行われた。

協議に入り、広島県から提出の「ポスター等啓発資料の対外配付コンセンサスについて」、また岡山県からの「会費等未納者への対応について」が協議された。その他として「令和3年度中国・四国地区歯科医師会連合会役員連絡協議会等について」を話し合っており、協議を終了した。

私の住む東松山市は埼玉県の中央部に位置し、北部に滑川、市ノ川、中部に都幾川、南部に九十九川、越辺(おっぺ)川と西から東へと5本の河川が横切っています。もともと水が豊富なため、各地にのどかな田園地帯が広がっていました。最近は何れも田園を埋め立て、各地にニュータウンが広がり、埼玉県で最も住みやすい市と言われ埼玉県の中部では珍しく人口が増加しています。西側の台地には高坂CC、清澄GC、武蔵松山CCなど数多くの名門ゴルフコースが点在していて、ゴルフアールにとっては一度は行ってみたい地域と思われています。



会員から

松崎 俊一
(埼玉県歯科医師連盟理事長)

2019年10月11日、埼玉県東松山市に台風19号が襲来しました。雨は三日三晩降り続き、雨で家が押しつぶされそうに感じたことは過去に一度も経験したことはありませんでした。雨が止み、朝突然に近くのショッピングセンターのピオニウォークが水没している

2度の大災害に遭って

この地域にあります。東松山市は本来災害の少ない地区で、私も生まれて66年になりますが、一度も災害らしい災害に遭ったことはありませんでした。このように5本の河川がありますが、大変治水工事が進んでいて小規模な水害はときどきありますが大きな水害に遭った記憶がありませんでした。ただ、以前、20年前に亡くなった父親からカスリーン台風(1947年)で東部の地域が大洪水に見まわられたことは聞いたことがあります。時は経ち72年後、2019年10月11日、埼玉県東松山市に台風19号が襲来しました。雨は三日三晩降り続き、雨で家が押しつぶされそうに感じたことは過去に一度も経験したことはありませんでした。雨が止み、朝突然に近くのショッピングセンターのピオニウォークが水没している

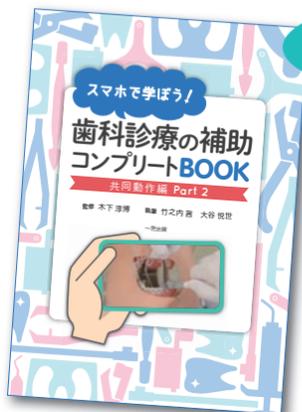
悪いことばかり起きた1年が終わり、今年こそは良い年になるように初詣で願をかけ、期待をしながら始まりましたが、今度はコロナ感染症のパンデミック。更に状況は悪くなりました。4月7日緊急事態宣言により、歯科診療も患者は激減し減収と大変な時代になってしまいました。その中でもマスクやアルコール等の医療物資の不足に歯科医師会や歯科医師連盟の迅速な対応に今回ほど歯科医師会や連盟に入っている良かったと思つたことはありませんでした。また、災害時の地元有力代議士のご尽力で速やかな救済、避難場所、生活物資の確保、河川工事等の迅速な対応。また、コロナ禍の多くの支給金や助成金の対応には心より厚く感謝を申し上げます。共に我々の生活において政治の大切さやそれに対するロビー活動や後援会活動等の連盟活動の大事さを今更のように痛感いたしました。

今後も出口の見えないコロナ禍の最中ですが、できる限り連盟活動に邁進したいと思えます。



矯正治療、全部床義歯、歯周外科治療などイメージしづらい治療を **パート2** で学びましょう!

スマホで学ぼう! 歯科診療の補助 コンプリートBOOK 共同動作編 Part 2



もっと!動画で

もっと!写真で



スマホでお試し!

右のQRコードを読み取れば、本書中の「矯正治療 II. バンドの装着/2. セパレーター挿入~除去」の音声解説付動画を見られます。ぜひお試しください!



監修 木下 淳博 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教育メディア開発学分野 教授

執筆 竹之内 茜 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教育メディア開発学分野 新宿医療専門学校 歯科衛生学科 専任講師
大谷 悦世 新宿医療専門学校 歯科衛生学科 専任講師

協力・新宿医療専門学校 B5判 ● 並製 ● 170ページ ● フルカラー
定価3,800円+税 (送料実費)



一世出版
〒161-8558 東京都新宿区下落合 2-6-22
(ホームページ) <http://www.issei-pub.co.jp>

TEL:03-3952-5141 FAX:03-5982-7751
お求めは書店、各材料店または直接弊社(送料実費)まで

写真がより大きくなってさらに見やすく!
内容もより専門的にパワーアップ!

チームアプローチにて介入した脳卒中患者の肺炎発症率 年度別推移



*入院後2日以内

歯科チーム介入

超早期*の歯科介入

グラフ①

つ職員数1260人の栃木県の中核的総合病院。以前より口腔外科はあったが、2010年からリハビリテーション科に歯科を導入し、歯科医師3名と歯科衛生士2名で、入院患者対象に口腔衛生管理、口腔リハビリテーション、嚥下評価や義歯調整を行っています。その結果、2010年には64人の歯科介入患者数が、2016年以降は2000人前後になり、看護師による入院患者の口腔アセスメント実施率も2014年以降100%で、歯科と看護の連携による口腔アセスメントが病院全体でシステム化されています。その結果、脳卒中患者の肺炎発症率は、2011年度の12.2%が年々減少し、2019年度には3.3%に激減(グラフ①)。またがん周術期患者の肺炎発症率も、歯科介入のない他病院の8.8%に対し、足利赤十字病院は0.7%となりました。



歯科医でない「歯科議員」が挑む!
参議院議員 山田 宏 ⑦

歯科導入で、病院経営もプラスに

歯科導入で肺炎が激減
「口腔ケアの導入で誤嚥性肺炎が減少し、早期退院が可能になった結果、病院経営にプラス効果をもたらした」
足利赤十字病院の小松本悟院長がこう力説されました。

このように病院歯科の導入によって、入院患者の誤嚥による肺炎発症率が大幅に減少した結果、例えば脳卒中患者が誤嚥性肺炎を併発した

病院経営よりみた医科/歯科連携

病名	平均在院日数	入院診療単価
誤嚥性肺炎+脳卒中	57日	53,810円
脳卒中	27日	40,650円

	入院患者数	誤嚥性肺炎発症率	[誤嚥性肺炎+脳卒中]の患者数
リハビリ歯科介入なし	369人	12.2%	45人
リハビリ歯科介入あり	369人	3.3%	12人

入院	誤嚥性肺炎+脳卒中	入院期間	57日間
入院	脳卒中	入院期間	27日間

図①

足利赤十字病院の事例は、病院歯科の設置が入院日数を大幅に減少させて患者の利益となるだけでなく、新たな患者の受け入れて病院経営にもプラスとなり、より多くの患者を救えることで社会のためにもなることを示しています。現在全国に300床以上の病院が1489カ所あり、そのうち口腔外科のある病院は約600で、歯科はわずか55、矯正歯科は65、小児歯科は47カ所に止まっています。私は300床以上の病院に歯科を設置し、それ以外の病院も地域の歯科診療所との連携を進めることは、脳卒中患者やがん周術期患者、人工呼吸器患者の肺炎を抑制でき、患者も病院もそして社会にも有用な重点課題と考えます。

入院日数の縮減で病院経営もプラス
このように病院歯科の導入によって、入院患者の誤嚥による肺炎発症率が大幅に減少した結果、例えば脳卒中患者が誤嚥性肺炎を併発した

場合の平均入院日数57日が27日となり、30日間入院日数が短縮。早期退院患者数は2012年に比べ2018年は33人増となり、30×33で1ベッド当たり990日の余裕が生まれることになりました。そして、その余裕ベッドに新たな脳卒中患者36人の受け入れをすることで医療収益約4000万円の増収となり、病院歯科の赤字分を補うだけでなく、病院経営全体にもプラス効果をもたらすことになったそうです。(図①)

日歯連盟広報 151号特別付録

診療室に貼ってご利用ください!

STOP!! 重症化!
歯科治療を続けましょう
日本歯科医師連盟

歯周病がアルツハイマー病発症に影響!?
歯周病治療を受けましょう
日本歯科医師連盟

日歯連盟患者啓発用ポスター

STOP!! 重症化!
歯科治療を続けましょう
日本歯科医師連盟

歯周病がアルツハイマー病発症に影響!?
歯周病治療を受けましょう
日本歯科医師連盟

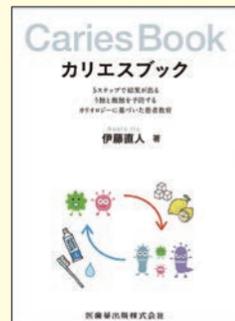
日歯連盟HP 会員ページ ID: jdpf パスワード: renmei8644

医歯薬出版 ● 出版案内

医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 https://www.ishiyaku.co.jp/

カリエスブック

5ステップで結果が出る
う蝕と酸蝕を予防するカリオロジーに基づいた患者教育



伊藤 直人 著

う蝕になりやすい理由が理解できる、カリオロジーのエビデンスが満載!
う蝕になりにくくする、シンプルなう蝕予防システムNICCSを紹介。

■A5判/120頁/カラー ■定価(本体4,000円+税)

デンタルプラークのすべて

歯科疾患の予防と治療は
バイオフィームとの戦い



奥田 克爾 著

デンタルプラークを探り続けてきた著者の畢生の大作がここに!
口腔内の Porphyromonas gingivalis から COVID-19 まで、歯科の目線から感染や免疫の機序を理解する一冊です。

■A4判/188頁/2色 ■定価(本体7,700円+税)

診療室で今日からできる!
子どもの口腔機能を育てる本
口腔機能発達不全症への対応



浜野 美幸 著

子どもの口腔機能の見方・口腔機能の問題への対応の仕方が、「知る」「みる」「対応する」の3ステップで学べます。

■A4判変型/164頁/カラー ■定価(本体6,800円+税)